

華為技術日本株式会社 ファーウェイ・ジャパン

東京本部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエアウエストタワー12F
代表電話番号: 03-6266-8008
代表FAX番号: 03-6266-8000

デリバリー&サービス本部

〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1
アルカイストビル7F

端末本部

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10
住友不動産九段ビル10F

大阪オフィス

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田三丁目3番20号
明治安田生命大阪梅田ビル14F
代表電話番号: 06-4560-6300
代表FAX番号: 06-6342-4331

法人ビジネス事業本部九州支店

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-4-25
アクロスキューブ博多駅前 706

横浜研究室

〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町3-1
コンカード横浜6F

東京研究室

〒108-0075 東京都港区港南2-16-4
品川グランドセントラルタワー8F

大阪研究室

〒530-6106 大阪府大阪市北区中之島3-3-23
中之島ダイビル6F

購買認証センター

〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目2番1号
京橋エドグラン24F

製造技術センター船橋ラボ

〒274-0052 千葉県船橋市鈴身町488-19

www.huawei.com/jp



Huawei Japan X
(旧Twitter)



Company Facts

Copyright © Huawei Technologies Co., Ltd. 2024. All rights reserved.

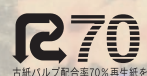
General Disclaimer

The information in this document may contain predictive statements including, without limitation, statements regarding the future financial and operating results, future product portfolio, new technology, etc. There are a number of factors that could cause actual results and developments to differ materially from those expressed or implied in the predictive statements. Therefore, such information is provided for reference purpose only and constitutes neither an offer nor an acceptance. Huawei may change the information at any time without notice.

HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.

Huawei Industrial Base
Bantian Longgang
Shenzhen 518129, P.R. China
Tel: +86-755-28780808

www.huawei.com



古紙ハルフ配合率70%再生紙を使用



HUAWEI

あらゆる人、家庭、組織にデジタル化の価値を提供し すべてがつながったインテリジェントな世界を実現する

BRING DIGITAL TO EVERY PERSON, HOME AND
ORGANIZATION FOR A FULLY INTELLIGENT, CONNECTED WORLD



ファーウェイについて

1987年に創業したファーウェイは、情報通信技術（ICT）およびスマートデバイスのグローバルプロバイダーです。20.8万人におよぶ社員とともに170以上の国と地域で事業を展開し、世界中で30億人以上のユーザーにサービスを提供しています。

当社のビジョンとミッションは「あらゆる人、家庭、組織にデジタル化の価値を提供し、すべてがつながったインテリジェントな世界を実現する」ことです。この目的に向けて、ファーウェイではユビキタス接続を推進し、ネットワークへの平等なアクセスを促進します。そして、必要な時に必要とされる場所で、さまざまなコンピューティングパワーを提供し、クラウドやインテリジェンスを世界のすみずみに届けます。また、あらゆる産業と組織をより効率化するデジタルプラットフォームを構築していきます。さらにAIを活用して、自宅、オフィス、外出先など生活のあらゆる面でユーザー体験をよりスマートで快適なものにします。

詳細情報は、ファーウェイウェブサイトwww.huawei.comまたはソーシャルメディアをフォローしてご確認ください。

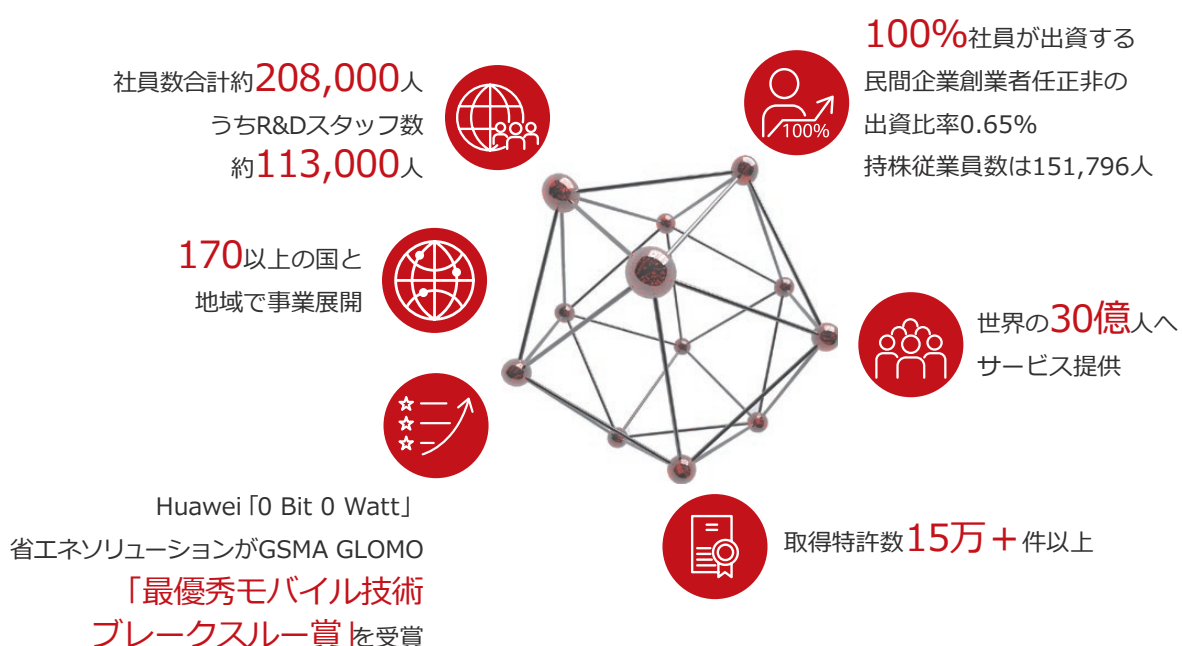
ファーウェイ・ジャパンについて

2005年に設立されたファーウェイ・ジャパン（華為技術日本株式会社）は、2025年3月現在1,223人の社員を擁し、そのうち85%が現地採用となっています。ICT、クラウドコンピューティング、コンシューマー向け、デジタルパワー、スマートカーソリューションなど五つの分野でサービスを提供しています。

日本のDXを支援する一方で、ファーウェイは世界ICT産業のニーズを日本のパートナー企業に紹介し、共に開発した最先端の製品をグローバル市場に送り出します。

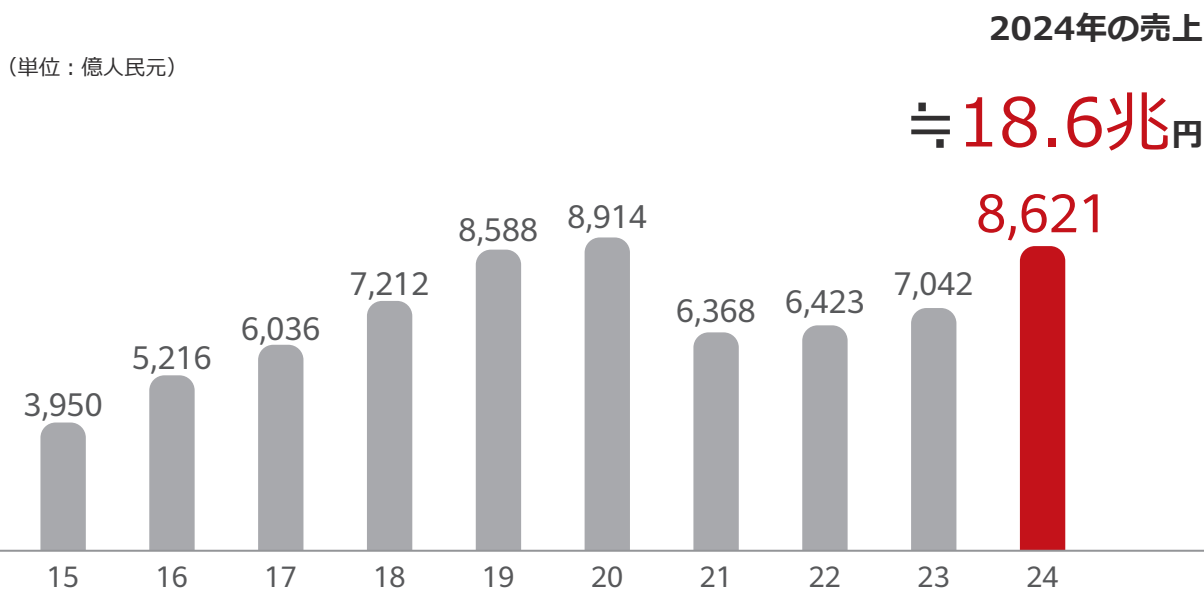
コーポレートアウトライン

世界**30億**人に「つながる喜び」を提供



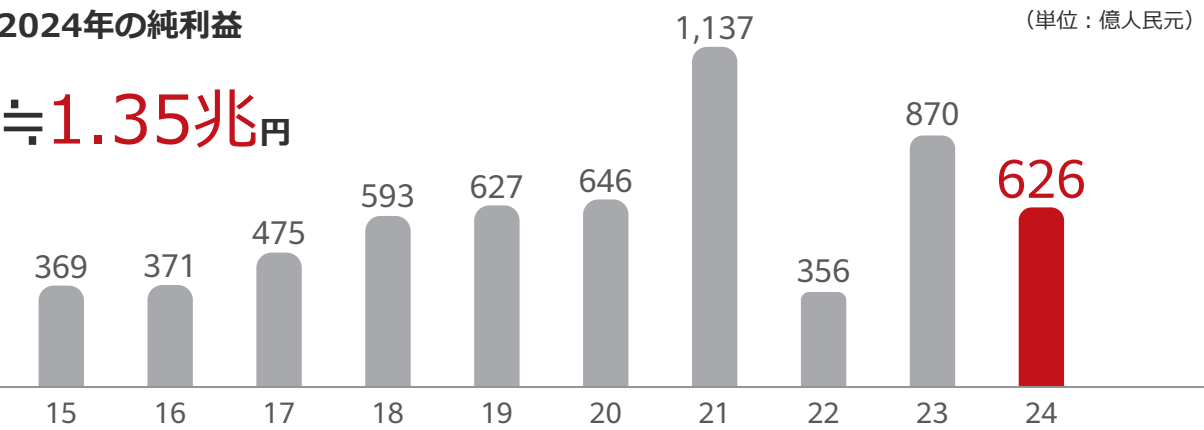
フィナンシャルハイライト

(単位：億人民元)



2024年の純利益

≡ 1.35兆円

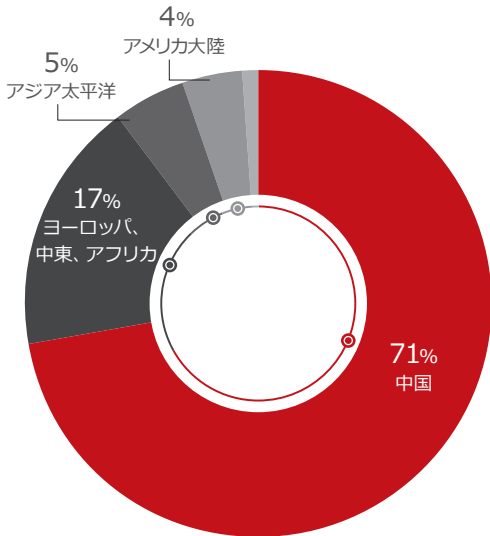


事業別売上

(単位：百万人民元)	2023年	2024年	変動率
ICT	352,756	369,903	4.9%
コンシューマー	245,134	339,006	38.3%
クラウドコンピューティング	35,514	38,523	8.5%
デジタルパワー	55,229	68,678	24.4%
スマートカーソリューション	4,588	26,353	474.4%
その他の事業	10,953	19,609	79.0%
合計	704,174	862,072	22.4%

*2024年までに、クラウドビジネスには部門間取引の収益額が含まれます

地域別売上



注：<中国人民銀行為替レート・12月31日>
1元：21.63円

研究開発への持続的な投資が
テクノロジーのブレークスルーを後押し

ファーウェイはオープンな研究と革新に取り組んでいます。世界のバリューチェーン全体にわたる高度テクノロジーとの統合を歓迎し、お客様のニーズに応える最高の品質とパフォーマンスを備えた製品、およびサービスをすみやかに提供するための設備を備えています。

自社の知的財産を積極的に保護します。研究開発への継続的な投資により、世界最大規模の特許権者となりました。自社の特許および技術のライセンスを世界中で供与することで、業界の発展を推進します。

直近10年の研究開発費合計 27兆円超

世界最大規模の特許保有企業

ファーウェイは長年にわたり基礎研究において革新を続けてきました。世界最大規模の特許保有企業であり、世界で**15万件**以上の有効な特許を保有しています。

保有する特許の価値は業界で高く評価される

ファーウェイは、セルラー通信、短距離通信、AVコーデックなど、多数の主要な標準特許分野でトップの地位を占めており、すでに数百社の企業が二国間協定または特許プールの支払いによってファーウェイから特許ライセンスを取得しています。

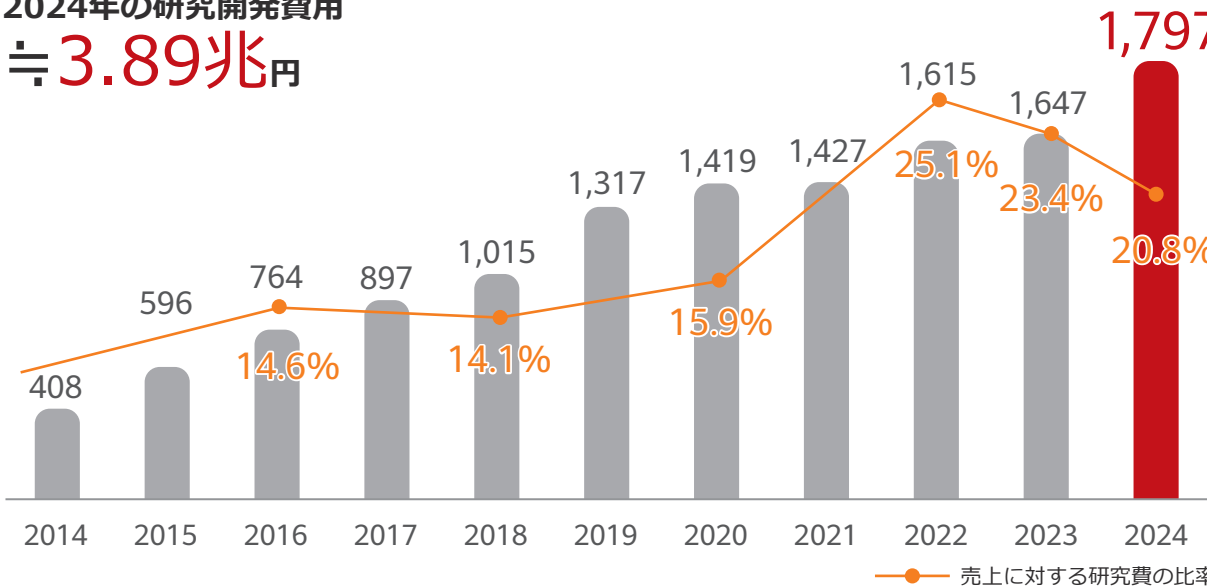
2024年末までに**230件**以上のライセンス契約が締結されました。

年商の10%以上を研究開発に投資

2024年の研究開発費は年商の約**20.8%**を占める**1,797億元**で、過去10年間の研究開発費は1兆2,490億元を超えています。

2024年の研究開発費用

≡ 3.89兆円



● 売上に対する研究費の比率

主な事業内容

●ICTインフラ事業

情報の配信・交換・伝送・処理・保存に関連し、「コネクト+コンピューティング」分野を中心に、通信事業者、政府や法人向けに、無線ネットワーク/クラウドコアネットワーク/データ通信/光ネットワーク/コンピューティング/データストレージ/サービス&ソフトウェアを含む先進的ICT製品・ソリューションを提供。



●端末事業

消費者を中心に、「HarmonyOSオフィス」「スポーツとヘルスケア」「HarmonyOSスマートホーム」「HarmonyOSスマートモビリティ」「エンターテインメント」の5つのシーンを中心に、スマホ/タブレット/PC/ウェアラブル/家庭用融合端末/スマートカー等の製品群と関連サービスを展開。消費者にあらゆるシーンにおけるスマートライフ体験を提供。



●クラウド事業

「Everything as a Service」戦略のもと、弊社がICT分野で培った技術とソリューションをクラウドサービスとして開放。AI/データガバナンス/メディアサービス/ソフトウェアとハードウェア開発ツール等を各業界のお客様・パートナーに提供。



●デジタルエネルギー事業

デジタル技術とエレクトロニクス技術を融合し、クリーン発電/電動化交通/グリーンICTエネルギーインフラなどを中心に、スマートソーラー・蓄電/充電ネットワーク/スマート電動車（再生エネ車用「三電」システムを含む）/データセンターエネルギー等の低炭素製品とソリューションを提供。グリーンエネルギー化を加速し、質の高い成長を推進。



●スマートカーソリューション事業

電気自動車のIoV分野の付加価値部品に特化し、自動車産業の智能化、電化を支援。スマートコックピット/車載制御/車載光/車載クラウド等の製品とソリューションを提供。



日本に根ざし、お客様の成功と社会の継続的な発展に貢献するファーウェイ・ジャパン

通信キャリア事業

業界をリードするネットワーク設備とソリューションにより、高性能で安全な通信インフラの構築と迅速な商用展開を実現。通信事業者のビジネス領域の拡大とイノベーションを通じた新たな成長を支援します。

製品



無線ネットワーク



光・IPネットワーク



エネルギー設備

ソリューション



遠隔業務支援



ネットワークの最適化



データセンター関連

コンシューマー事業

グローバル市場での競争力を強みに日本市場のニーズに寄り添い、優れたユーザー体験をもたらす製品を幅広く展開しています。



ウェアラブル



オーディオ



ノートパソコン



タブレット



モニター



Wi-Fiルーター



スマートフォン

法人事業

世界が認める製品・ソリューションを現地化し、さまざまな企業のICT戦略をサポートしてデジタル変革の実現を支援します。

製品



ネットワーク
コンピューティング



ストレージ



エッジ
コンピューティング



ICT関連製品

ソリューション



クラウド
データセンター



バックボーン



キャンパス



拠点支援

クラウド事業

高性能・高信頼性のクラウドサービスとAI技術を提供し、企業のデジタル変革とイノベーションを支援する

製品



Flexus



GaussDB



ModelArts



SecMaster

ソリューション



PublicCloud



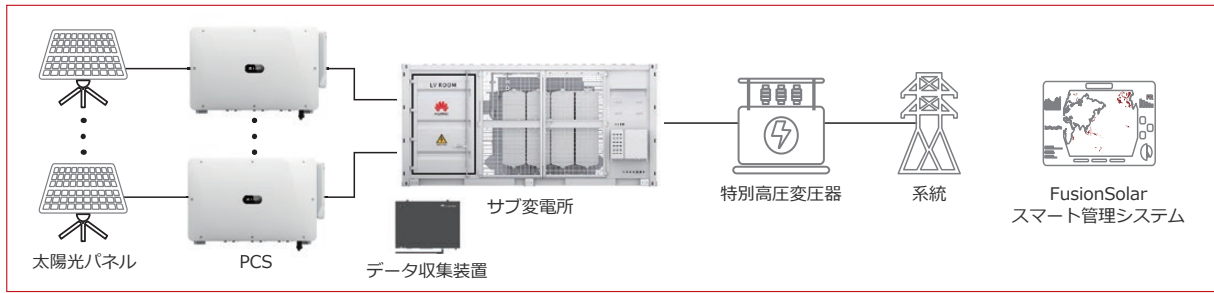
HuaweiCloudStack



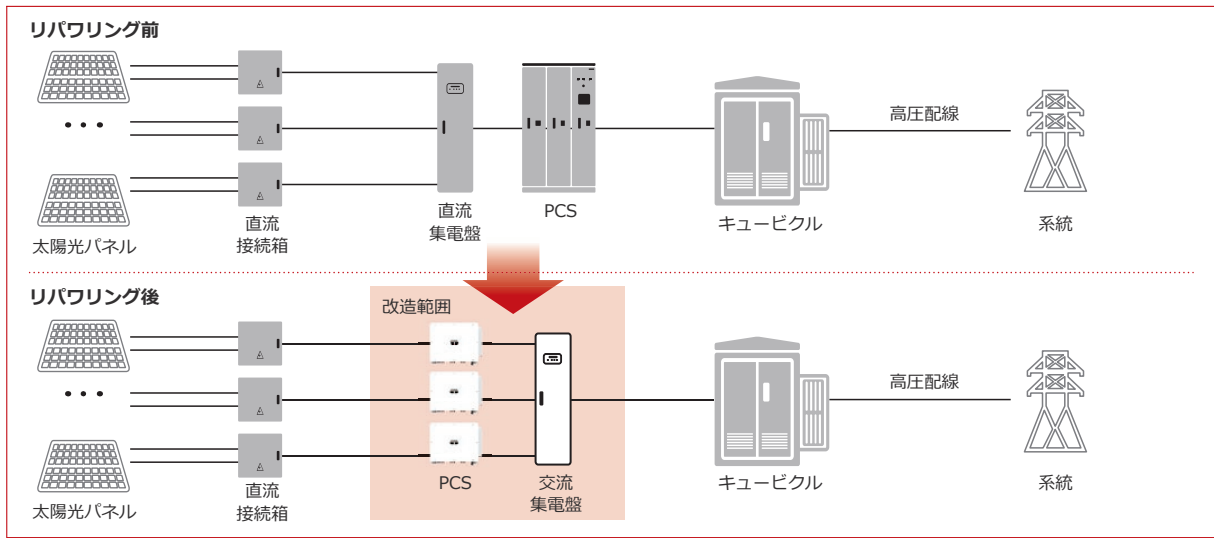
CloudPond

デジタルパワー事業

高圧・特高ソリューション（特高発電所の構成例）

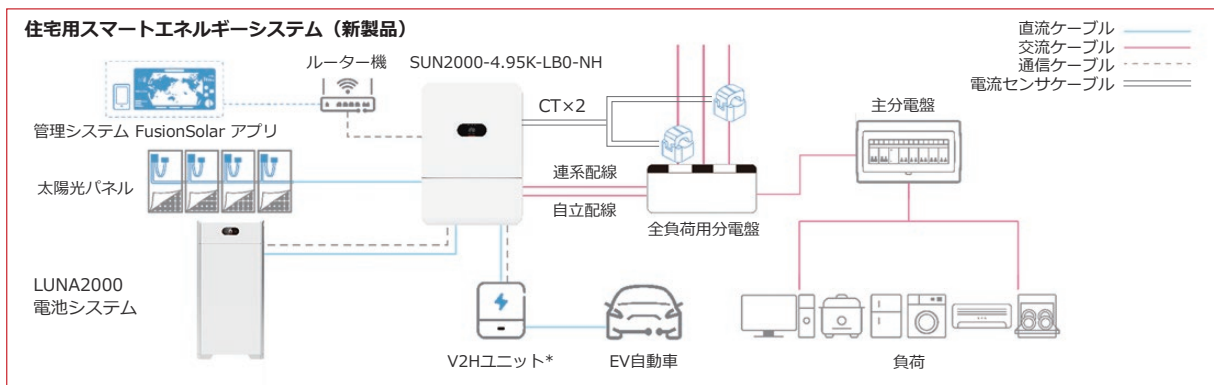


リパワリングソリューション（リパワリングのイメージ）

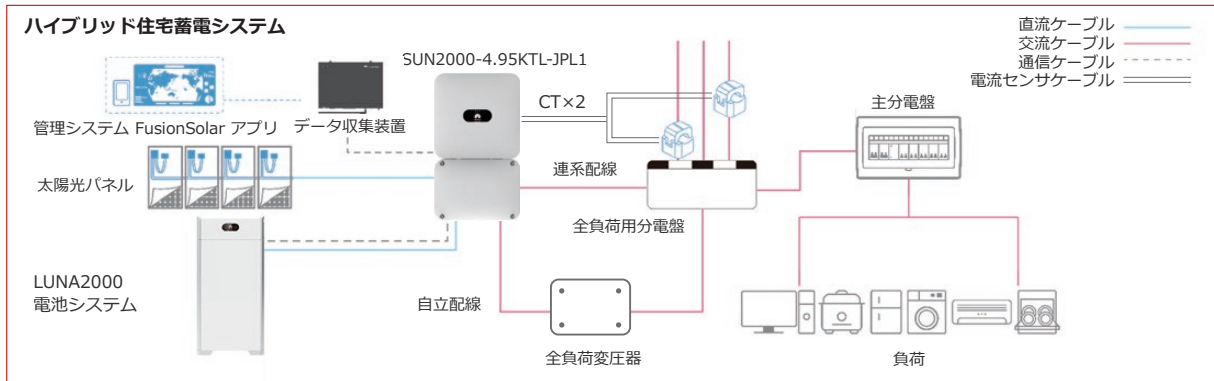


住宅用PCS・蓄電ソリューション

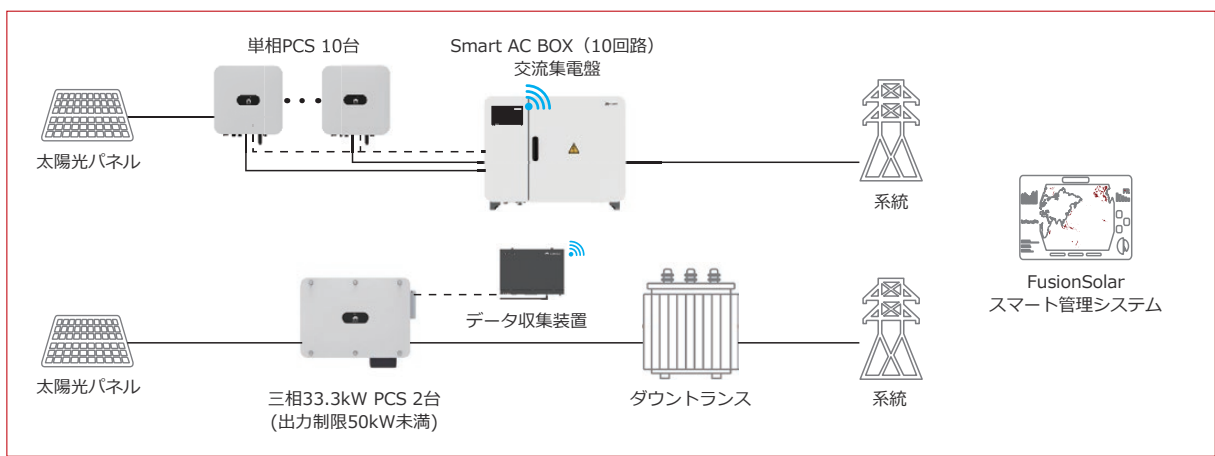
増設が容易な蓄電池からパネル最適化まで提供可能です。詳しくは専用カタログをご覧ください。



*今後開発予定

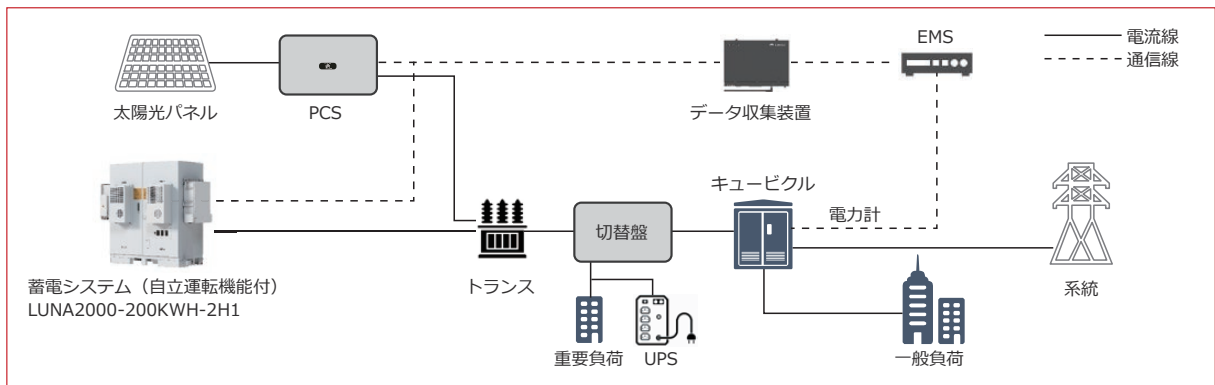
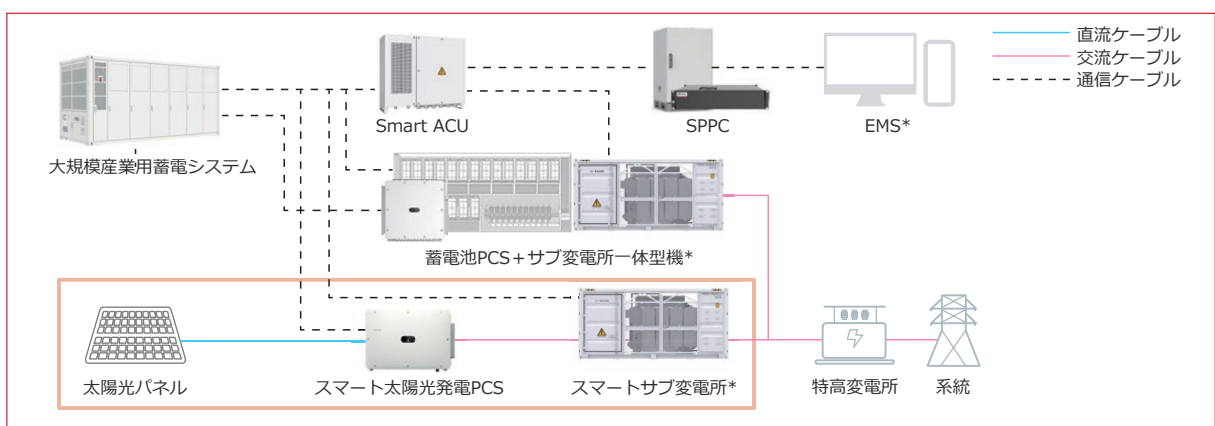


低圧ソリューション（低圧発電所の構成例）

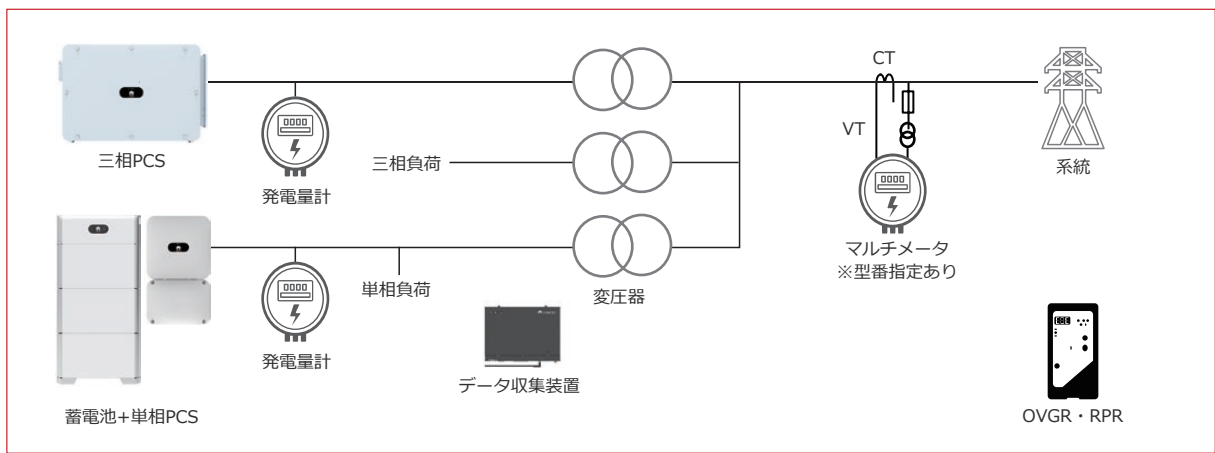


産業用蓄電ソリューション

系統用蓄電システムから自家消費蓄電システムまで提供可能です。詳しくは専用カタログをご覧ください。



自家消費ソリューション（自家消費型発電所の構成例）



現地に根ざした着実なローカル事業展開

現地人材を活用

東京・大阪・横浜・福岡など国内に10の事業所を開設。

従業員のうち85%を現地で採用し、2012年以降は新卒採用も実施しています。現地人材を生かすためローカライズされた事業展開を行っています。

主な加盟団体

2011年に経団連に初の中国企業として加盟し、2014年に日中経済協会、2019年に関経連、2020年に九経連に加盟しました。日本国内のさまざまな業界団体、標準化団体、NPO団体にも積極的に参加し、日本のICT業界の一員として貢献を続けています。

- 日本電子デバイス産業協会（NEDIA）
- 情報通信技術委員会（TTC）
- XGモバイル推進フォーラム（XGMF）
- 電波産業協会（ARIB）
- 日本ディープリング協会（JDLA）
- 日本Data Center協会（JDCC）
- 光産業技術振興協会（OITDA）
- ITS Japan
- 無線LANビジネス推進連絡会
- 経団連自然保護協議会
- 日本科学技術振興財団
- 太陽光発電協会（JPEA）
- 日本電機工業会（JEMA）
- 日本フィランソロピー協会

エネルギー事業

グリーンエネルギーで球磨村の防災レジリエンス構築を支援

九州地方の球磨村は2020年の豪雨災害で甚大な被害を受けた。災害復興の中で、電力供給の安定化による防災強化と地域経済活性化を実現するため、「FusionSolarスマートソーラーソリューション」を導入。

現在は村内の公共施設や観光地から順次展開中で、2029年までに村全体で太陽光発電による電力供給を実現する計画が進められている。この取り組みは高く評価されており、球磨村は環境省が指定する「脱炭素先行地域」として認定されている。



詳しくは▶▶▶



X
<旧Twitter>



YouTube

日本の未来づくりに向けたCSR活動

復興支援活動

東北震災の復興支援として、震災直後の通信復旧や寄付にとどまらず、震災から13年を経た現在も復興に向けて歩みを続ける被災地をサポートしています。

東日本大震災後のネットワーク
復旧や物資救援活動

新型コロナウイルス対策の支援として、遠隔通信
設備と医療用物資を寄付



基地局の復旧作業を行うファーウェイ社員たち 寄付先よりいただいた感謝状

環境保全

環境に優しい製品やソリューションの提供、社内の資源利用効率の改善により二酸化炭素排出の削減と省エネルギー化に努めるほか、経団連自然保護協議会の一員としての活動にも積極的に参加しています。

植樹などのボランティア活動に参加



ファーウェイ社員を含むプロジェクトに参加した
経団連自然保護協議会のメンバーたち

グローバルICT人材育成

世界各国で実施しているICT人材育成の経験をもとに、日本のみならず世界での活躍を視野に入れて、通信の未来を担う人材育成を産業界に貢献支援しています。

グローバルICT研修プログラム

「Seeds for the Future」を実施



ファーウェイの「Seeds for the Future」プログラム
で12年連続日本の大学生を中国へ招待

持続可能な開発

国連の持続可能な開発目標(SDGs)は、貧困を根絶し、地球を守り、すべての人々の生活と未来を改善するために、ファーウェイは科学技術の革新を通じて、人類社会が直面する持続可能な開発に関する問題に、新たな解決策を提供すべくエコシステムの4つの持続可能な開発戦略を中心に継続的に取り組んでおり、国連の持続可能な開発目標の実現に貢献し

行動を起こすよう世界に呼びかけています。世界をリードするICTインフラおよびスマート端末プロバイダーとして、尽力しています。そのために私たちはデジタルインクルージョン、セキュリティと信頼性、環境保護、健全で調和のとれた

ファーウェイの持続可能な開発戦略と進捗状況の概要



デジタルインクルージョン

包括的で持続可能なデジタル世界の実現：ファーウェイは2019年にTECH4ALLデジタルインクルージョンイニシアチブを立ち上げ、公平で質の高い教育、脆弱な環境の保護、健康と福祉の促進、バランスのとれた開発の推進の4つの分野で、デジタル技術を活用して、世界をより平等で持続可能なものにしていくために、パートナーと積極的に協力しています。

51万人

ファーウェイのTECH4ALLの教育プログラムは、世界中の850校以上の学校で実施され、51万人以上の教師と学生、失業中の若者、高齢者、遠隔地の住民が享受しています

58か所

デジタル技術を活用して、世界58か所の自然保護区における生物多様性の向上と天然資源の持続可能な管理・利用の効率化を支援しています

800万人

端末製品でのプラクティスに基づき、視覚障害者、聴覚障害者向けにバリアフリーの基礎能力を開発し、毎月800万人以上のユーザーに利用されています

1.2億人

ファーウェイのICTソリューションは、世界80カ国以上で遠隔地に住む1億2,000万人以上に、デジタル社会につながる能力を提供しています



セキュリティと信頼性

責任を果たし、信頼を構築：ファーウェイはネットワークとサービスのセキュリティ保証を最優先とし、これに対する投資と透明性の確保を継続していきます。ソフトウェアエンジニアリング能力と実践を全面的に強化し、レジリエンスのあるネットワークを構築し、信頼できる高品質な製品を開発して、安定したネットワーク運用に取り組みます。

600件

セキュリティとプライバシー分野で600以上の認証を取得し、国際的に認知されたセキュリティをお客様に提供します

25,000件

25,000以上のデータ主体からの要求を迅速かつ効果的に処理し、データ主体の権利を保護しています

80回

世界中で80回以上の内部監査と検査を実施し、ガバナンスシステムの効果的な運用と継続的な改善を監視し確保しています

300件

世界中で300件以上の自然災害や重大事故への緊急対応と支援を実施し、円滑な通信を確保しています



環境保護

グリーン、高効率、低炭素の循環型経済への貢献：環境保護関連の法令の遵守、エネルギー資源の効率化、自然環境効果などの要件を、研究開発、運営、調達、製造、サプライチェーンなどの各段階で基準として取り入れ、革新による産業チェーンのグリーンな発展を目指し、常に低炭素、循環の「最適解」を模索しています。

1.4113兆kWh

ファーウェイデジタルパワーソリューションにより累計1兆4,113億kWhのグリーン電力が生産されており、再生可能エネルギー変革を促進しています。

3倍

ファーウェイの主力製品の平均エネルギー効率は2019年（基準年）の3倍へ向上しています

30億kWh

ファーウェイは事業運営において30億kWh以上のクリーンエネルギーを使用しています

100万台

下取りにより、累計約100万台のデバイスのライフサイクルを延長しました



健全で調和のとれたエコシステム

共通の利益のためのコラボレーション：誠実かつコンプライアンス遵守の経営理念を堅持し、従業員の成長と価値実現を重視しています。グローバルサプライチェーンの持続可能な発展に対して管理責任を尽くし、事業を展開する地域社会に積極的に貢献します。産業チェーンの各パートナーと協力し、健全で調和のとれたエコシステムを構築しています。

166カ国

ファーウェイの従業員は世界166の国と地域から、様々な人材を採用しています

65.5時間

従業員1人当たり平均65.5時間の研修に参加しています

130万人

ファーウェイICTアカデミーは世界110以上の国と地域をカバーし、累計130万人以上の学生を育成しています

1,600社

ファーウェイの調達金額の90%以上を占める約1,600社のサプライヤーに対し、サステナビリティ・パフォーマンス評価を実施しています

会社概要

正式名称	華為技術日本株式会社（ファーウェイ・ジャパン）
設立	2005年11月
資本金	45億6,421万5,000円
代表取締役社長	李 飛（リ・フェイ）
社員数	1,223人（2025年3月現在） 85%以上が現地採用スタッフ

事業部	アジアパシフィック研究院
通信キャリア事業	東京研究室
法人事業	横浜研究室
クラウド&AI事業	大阪研究室
デジタルパワー事業	
コンシューマー事業	
製造技術センター 船橋ラボ	
購買認証センター	

- 2005 モバイルWi-Fiルーター『Pocket WiFi D25HW』（イー・アクセス）発売
- 2006 ファーウェイ・ジャパン設立
- 2007 日本市場向けに分散型基地局を提供
- 2009 USB型データ通信カード『D01HW』（イー・モバイル）発売

- 2010 中国企業として初めて日本経済団体連合会に加盟
- 2011 日本研究所設立
- 2012 日本研究所設立
- 2013 日本研究所を横浜へ拡張移転
- 2014 日本研究所を横浜へ拡張移転
- 2015 日本研究所を横浜へ拡張移転
- 2016 日本研究所を横浜へ拡張移転
- 2017 日本研究所を横浜へ拡張移転
- 2018 日本研究所を横浜へ拡張移転
- 2019 日本研究所を横浜へ拡張移転
- 2020 日本研究所を横浜へ拡張移転
- 2021 日本研究所を横浜へ拡張移転
- 2022 日本研究所を横浜へ拡張移転
- 2023 日本研究所を横浜へ拡張移転
- 2024 日本研究所を横浜へ拡張移転

- 2005 文部科学省主催「サイエンス・インカレ」に協賛、ファーウェイ賞を授与
- 2006 外資系ICT企業として初めて「ISO9001」の認証を取得
- 2007 WIDEプロジェクトの研究用バックボーン・ネットワーク刷新を支援
- 2008 NTTドコモと5G中核技術の共同実験を開始
- 2009 Interop Tokyo 2015 Best of Show Awardでグランプリを受賞
- 2010 東京スカイツリーで5G実験無線基地局を構築
- 2011 大阪駅前にかスタマーサービスセンター梅田店をオープン
- 2012 SIMフリースマートフォンメーカー別年間販売台数第1位に（BCN調べ）
- 2013 Interop Tokyo 2017 Best of Show Award 2部門でグランプリを、Best of ShowNet Awardで特別賞を受賞
- 2014 日中経済協会に加盟
- 2015 スマートソーラー事業本部設立、太陽光発電向けPCS発売
- 2016 九州経済団体連合会に加盟
- 2017 中高校生向け「未来の種JAPAN」ICT研修プログラム発足
- 2018 スマートソーラー事業本部を「デジタルパワー事業本部」に改名
- 2019 Interop Tokyo 2019でMost Value Contributor等9つの賞を受賞
- 2020 スマートソーラー事業本部日本市場PCSメーカー別年間出荷量第1位に
- 2021 関西経済連合会に加盟
- 2022 『ファーウェイ日本経済への貢献』の発表
- 2023 Interop Tokyo 2021サーバストレージ分野でグランプリなど6製品が受賞
- 2024 住宅向け太陽光蓄電池システム発売、SII ZEH支援事業蓄電システム登録済
- 2025 MateBook X Pro含む3製品がGood Design Award受賞
- 2026 高校生のSDGsアイデアコンテスト「みらい甲子園首都圏大会」に特別協賛、「全国高校駅伝競走大会」に協賛
- 2027 「未来の種JAPAN」は中高生累計3,700名にICT授業を実施
- 2028 株式会社Gakkenと小学生漫画「情報通信のひみつ」を出版

- 2005 24時間動的血圧モニタリング対応スマートウォッチ「HUAWEI WATCH D2」を新発売
- 2006 WATCH GTシリーズにゴルフ機能を追加アップデート、販売数大幅増
- 2007 新形態オープン型オーディオ「HUAWEI FreeClip」と「Eyewear 2」をシリーズ展開
- 2008 Interop Tokyo 2024において、AI大規模モデルベースのソリューションが銀賞受賞
- 2009 産業用蓄電システムソリューションがTÜV Rheinlandの世界初最高レベル安全認証を取得
- 2010 WIFI7が日本の複数の顧客で初実用化
- 2011 50G PON光ネットワークの初実用化
- 2012 大規模AIデータセンターネットワークの導入
- 2013 福岡オフィス設立
- 2014 Interop Tokyo 2023のエンタープライズクラウドインフラ部門で金賞を獲得
- 2015 日本交流体験センター開設
- 2016 リバワリングならびに全交流電圧ソリューションリリース
- 2017 法人事業で数十社の新規顧客とパートナーを獲得
- 2018 10種類あまりのウェアラブル製品は、VGP、Good Design、『家電批評』など20以上の賞を受賞
- 2019 OWNDAYS×HUAWEI Eyewear 2をリリース
- 2020 大阪研究所設立
- 2021 開発・製造で協業する日本のパートナー企業を招いた『ファーウェイ・ジャパンパートナーコンベンション』を開催
- 2022 日本市場向けに5G AAU製品を提供
- 2023 秋葉原・新宿にファーウェイ・ショップをオープン
- 2024 全国7都市に認定修理店を展開
- 2025 Interop Tokyo 2018 Best of Show Awardでグランプリを含む5つの賞を受賞

コーポレート

通信キャリア事業

コンシューマー事業

法人事業